

# 一般質問25人が登壇

紙面の都合により、質問と答弁の要点のみ掲載しています。市議会会議録は、図書館・公民館庁舎地区行政センターなどの公共施設、または議会事務局で閲覧できます。なお、6月定例会会議録は9月中旬から閲覧可能です。

## 深谷 幸次郎

**問** 4市村合併に伴う新しい白河市の「生涯学習とまちづくり」をどのように推進されるのか。

**答** 生涯にわたり学習を継続してできるような支援体制づくりが必要であり、生涯学習活動を通して得た成果を地域へ還元する活動が、人づくりを基盤とした生涯学習のまちづくりにつながるものと考えています。また、学習機会や交流の場を提供する環境整備に努めるとともに、拠点となる公民館の利活用を推進してまいります。

**問** 団塊の世代の退職が地方自治体に及ぼす影響として、財政悪化の加速が懸念されています。今後の市行財政運営をどのように対処していくのか。

**答** 平成19年度から平成21年度までに団塊の世代が退職を迎えることから、この団塊の世代の退職を見据え、定員適

## 深谷 政 男

**問** 今年は、農作物に冷害が心配されることから、その対策についてお聞きします。また、これに対する対策は航空防除が一番、再度実施する考えはないのかお聞きします。

**答** 防災無線による広報さらには広報紙による周知徹底を図るとともに、県南農林事務所、JA及び農業共済組合と連携し、対策に当たります。

**問** 地域包括支援センターについて市民へのPRのために、も内容についてお尋ねします。

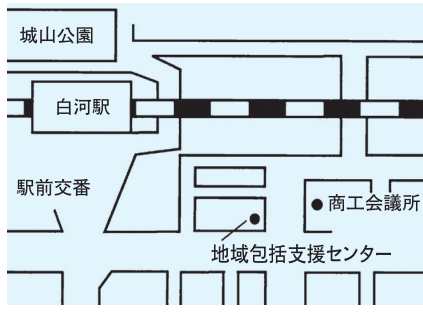
**答** 介護認定者が軽度から重度の認定区分に移行しないよう、長期的な視野に立った予防重視型の政策展開の一翼を担う仕組みとして設置したものであります。高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点として、可能な限り、高齢者の様々な問題や悩みに対応するところであり、身近な窓口として気軽に利用してい

## 我妻 茂 昭

**問** 少子化に対する考え方、子育てに対する経済的支援

**答** 旧4市村において策定しました「次世代育成支援行動計画」に基づき、少子化対策に取り組んでいるところです。各計画は、少子化対策を含めた次世代育成支援対策に関する基本的方向性や目標を総合的に定めたものです。子育てに対する経済的支援は「乳幼児医療費助成事業」「ひとり親家庭医療費助成事業」「児童扶養手当」等により、取り組んでいるところです。

**問** 県道白河石川線の蕪内地区の改良について、旧東村に



地域包括支援センター

**問** 女性政策と人材育成及び登用への対応は進展していますか。市の登用率は低いが、今後の方針は。また、栃木県は全市とも男女共同参画社会推進事業を独自で活動、条例も策定していますが、市の考えをお示しください。

**答** 市民の意見を十分に取入れ、19年度内に男女共生計画を策定、その上で条例も検討する。合併したことにより女性の登用率が減少したが、男女がお互いの立場をよく理解し、尊重し、能力を発揮し活躍するためにも、極めて需要と認識し人材育成に努めます。  
**問** 子育て支援について、各自治体が生産性、出生率、人口増加に努めていますか、市と

において同地区の冬季凍結問題を歩道整備と含めて要望してきたが、合併後市としてどのような対応をしているのか。

**答** 県道白河石川線蕪内細倉地区については、凍結対策の樹木伐採及び歩道設置、泉崎方面への右折レーン改良について一体的整備を、平成18年度も県と市における事業調整会議の中で要望しています。また、歩道設置及び右折レーンは、県が策定する合併支援道路整備計画に市が要望している箇所であり、合併後の重要整備箇所として引き続き要望をさせていただきます。

## 大竹 功 一

**問** 財政再建が叫ばれている中、市税等の滞納が多いという話を聞く。どのような対策を行っているのか。

**答** 催告書を送り、返事がない場合は銀行口座等を調べ、強制徴収する場合もあります。  
**問** 景気が回復されつつあると言われているが、地方はまだだめである。市は失業者対策をどのように考えているのか。

**答** 現在、パソコン講座等を開催しております。今後は関

しての方針をお示しください。

**問** わかば保育園内に子育て支援センターを設置、事業を考える。

**答** 東子どもの居場所づくり事業は19年3月で終了となる。親と子とボランティアの皆さん、地域ぐるみで一体となり成功して、今後は是非継続させてほしい。

**問** 県の委託事業で終わりますが、学校の場所の提供など方法で考えます。

**答** 県の委託事業で終わりますが、学校の場所の提供など方法で考えます。

**問** AD/HD（注意欠陥／多動性障害）児童や不登校児童生徒、また自閉症児童の実態とその対応について

**答** AD/HD児童生徒は特殊学級入級の対象にならないため、通常学級で学級担任のみの対応で難しい状況にあるため、校内の協力体制を整える指導に当たり、市単独の介助員を3名配置し対応。不登校児童生徒もやや増加の傾向にあり、それを防ぐため、重点施策としてきめ細かい対応をとっている。自閉症の児童も情緒障害特殊学級入級の対象となることから、その子の将来のためにも、適正な就学

係機関と相談してまいります。  
**問** 市営住宅は弱者のための住宅であると思う。母子家庭等の入居に対して優遇はできないのか。

**答** 母子家庭等に対する優先住宅として2戸用意はしてあります。しかしその他の弱者も入居を希望しており、これ以上の優遇は考えていません。  
**問** 今回、建設をすることを決められたが、その内容は。

**答** 旧白河市時代、平成17年3月に発表した基本構想計画に基づき、設計を依頼したいと思えます。

**問** 白河地区以外の公民館に専任の館長を置いては。

**答** 検討してまいります。

**問** 佐川 琴 次

**問** 新社長として今後の株ひがし振興公社の方針・方策を伺います。昨年株ひがし振興公社は旧東村から1500万の委託金が支給されていて、平成17年度は当期利益を61万2206円確保しました。

**答** しかし、今年度の委託金は昨年より300万削減され、単純に考えますと今年度の当期利益を確保することは非常に難

指導を進めています。

**問** 表郷なか地区及び犬神・中野・内松・旗宿の集落排水事業について

**答** 表郷なか地区は、平成21年度完了で進める。この4地区は、地域の特性を踏まえた効率的な整備手法で行います。

**問** 後継者の結婚対策及び外国人と結婚された方への支援について

**答** 「ふれあいの場」創出事業の継続充実を図る。外国人のための育児支援教室等支援、ボランティア団体「国際交流の会・だるま」も活動しています。

**問** 阿武隈川のカワウ被害の状況と対策について、4年前からカワウによる魚類の被害、営業地での糞による木枯れの被害等生態系への影響が懸念されるが、対策はどうか。

**答** 2年前に9羽駆除した経緯があり、状況報告を受け対応します。カワウ対策中、地域協議会が発足し、その中で対策を検討していきます。  
**問** 1000人近いサッカー人口がいるので、各種大会が開催できる芝の専用競技場の

しいと思われれます。今後、委託金の増額や、別な方策があるのかお伺いします。

**答** 市の指定管理者という立場上安易な利益の追求は難しいと思われれますが、第三セクターといえども株式会社である以上、自助努力による独立採算に向けた経営努力が必要であると考えますので、収入の増大、経費の節減に努めて健全経営に努力します。

**問** 現在、火曜日が定休日になっていますが、市民の利便性や健康増進・交流人口を増やすためにも、年中無休で営業すべきではないか。

**答** 職員の増員あるいは勤務体制の整備や経費の面からの検討が必要であり、まずは条件整備について検討します。



ひがし振興公社 きつねうち温泉

設置を要望する。

**答** 合併により各施設の見直しを含め、将来に向けて検討していきます。

**問** 白河には日本で最初というものが幾つかある。これらをまとめた「白河はじめて物語」のビデオを、合併を機に多くの皆様に見てもらおう機会を作ってはどうか。

**答** 著作権の問題があるが、白河の歴史を知る上で非常に良いビデオなので、市内の全小学校に配布し、総合学習、社会教材に活用したい。また、出前講座、貸し出し等活用していきます。

## 大竹 利 男

**問** 少子化対策について伺います。自治体による子育て支援の取り組みが広がっています。「安心して産み育てることができるまちづくり」を市と住民が共同の力で進めていくためにも、自治体の責任を明確にし、事業を進めることを求めます。次の3点について市長の考えを伺います。

①子育てに対する財政支援について②地域の子育て支援事業について③市はどのような少子化対策を行っているか。

**答** 現在、取り組んでいる市の経済支援策は、「乳幼児医療費窓口現物給付」を実施している。特に、「児童手当」では4月より対象年齢の引き上げ及び所得制限が引き上げられております。また、平成18年10月には、「出産一時金」の引き上げが行われる予定であります。地域の子育て支援事業ですが、「小野田小学校児童クラブ」を開設したことにより、市内すべての小学校区に児童クラブが設置されました。少子化対策について、児童福祉、母子保健、学校教育や社会教育、児童の安全対策の分野で取り組んでいます。

**高橋光雄**

**問** 今、合併白河市の土台を築かなければならない大切な時です。この時期に、まちづくりの方向性が明らかになれば、それが白河らしさとなり、ふるさとの魂として市民に浸透して、新市の一体感が醸成されると考えます。

また、そうすることによって市長が誰になっても、市政の方向性に変化はなくなり、行政の継続性が確保され、新市の土台になるものと信じます。

そこで、どのようなまちにしたいのか、また、まちづくりの基となる人材教育、富を生み、働く場を提供し、生活を安定させ地域の力の根っことなる産業育成の方針をお聞きします。

**答** 市民が安心して暮らせるまちづくりの基本構想を構築し、行政の継続性確保に努めます。学校教育では、白河市学力向上推進事業を実施して学力向上に努めるとともに、「白河藩主松平定信公物語」を旧村部の学校で活用し一体感を醸成します。産業政策は、産学官支援体制の確立に努めます。また、トップセールスによる企業誘致とともに、操業中の企業情報を収集分析し、支援していきます。

**矢口 恵**

**裁判員制度について**

**問** 裁判員は7900人に1人の割合で選任され、70歳以上の理由で辞退ができるが、それ以外は認められないとなっています。対象となる裁判は、殺人、強盗致死傷、現住建造物等放火など重大な事件であり、どのように市民に説明、指導をしていくのか。

**答** 国民の参加による制度への理解と迅速化に向けて、市民に対して広報、PRに努めます。

**表郷結工房について**

**問** 障害者自立支援法施行後、県が実施した小規模作業所への補助金削減で、運営が厳しく閉鎖するところも出ている。2万円の負担、アルミ缶の回収、春秋の彼岸のサラ花や正月の干支の置物を造り、販売して運営をしている。そこで、補助金を削減された場合、市で助成金を出すのか。

**答** 市として補てんはしないが、愛の基金より1施設5万円を助成する。また、障害者自立支援法施行に伴い白河市障がい者福祉計画の策定に取り組んでいるが、その中で小規模作業所の意向を調査し、側面支援をしていく。

**藤田文夫**

**消費者保護・詐欺対策について**

**答** 悪質商法による被害に遭わないよう広報紙やパンフレット等を通じて市民に注意を呼びかけるとともに、消費者講演会を実施し、市民の消費者としての意識高揚を図ってま

いりました。

今年度からは従来月1回の無料法律相談に加え、各庁舎においても相談日を設定し、年12回の相談を追加したところです。

詐欺対策については具体的な相談は来ておりませんが、高齢者はもとより広く市民に対して悪質事例等の情報提供や、注意喚起を図ってまいりますと考えております

**児童生徒の体力向上について**

**答** 児童生徒の体力・運動能力は、持久走・走力・跳躍力等について、強化していく必要があると考えております。各小・中学校では、自校の体力、運動能力の実態を把握し、実態に応じた体育の指導計画を作成し、その計画で課題解決に取り組んでおります。

**佐川京子**

**問** 子育て・介護支援を充実させるために、市民同士、有償ボランティアでの助け合いのファミリーサポートセンター事業の早期設置が望まれていることについて市長に答弁願います。

**答** 市としても、地域で仕事

と家庭の両立支援を図る上でも有効な事業であると認識しており、現状と課題等について分析を進めながら、今後、効果的かつ安定的な事業展開が図られるよう検討したいと考えています。

**問** 合併により海外の友好姉妹都市も増えたので、この際これらの都市との交流を通して、さらに白河市の発展を望むべく、全市挙げて英語教育を充実してはどうでしょうか。

**英語力を身につけ国際親善に寄与すべく、今後も学校と地域が一体となり英語で世界と交流できる地域形成を図ってまいります。**

**図書館建設について**

**答** 議員から提案のビジネス支援コーナーや青少年の学習スペースも、基本設計において具体化してまいります。

**大竹一郎**

**問** 今年は過去10年間で、プール熱が大流行の兆しを見せているが、どのような対策をするのか。

**答** 手洗い・うがいの励行、水泳前後のシャワーの励行などの予防措置、指導をしています。

**問** 子ども見守り隊と児童の交流会を開催してはどうか。

**答** 学習発表会や授業参観に招待し、子供たちが感謝の作文を読むなど、交流会を実施しています。

**学校と市役所の個人情報管理対策について**

**答** ファイル交換ソフトウェアに起因する個人情報流出が問題になり、市としても情報管理対策を十分に行います。

**問** 白河ウッドパワー大信発電所への搬送道路はどこを通るのか。

**答** 中新城地内1の5号線を通ります。若内地内市道147号線は年次計画で整備します。

**問** 本庁と各庁舎の事務連携と情報の共有化対策について。

**本庁及び各庁舎において、より一層の人事交流を図るとともに、情報交換や職員意識の共有化を研修等を通じて連携を確立したいと思います。**

**森山千代**

**問** 白三小児童クラブの過密化解消と教室不足について、白三小の児童クラブは定員数45名に対して77名の児童を受け入れており、子供たちは落ち着いて座っている場もない

状況であり、子供たちが安全で伸び伸びと過ごせる場が必要で。また、白三小は教室不足が生じているので、独自の児童クラブの施設が必要と考えますので、今後の対策について伺います。

**答** 校地狭隘のため苦慮しているが、子供たちのために、今後いろいろと検討していきます。

**問** 障害者自立支援法の改正により、利用料の1割負担や今まで受けていたサービスが受けられなくなるという制限が出てくるため、障害者や家族は大きな不安となっている。また、障害者小規模作業所への国の補助金がカットされ、県・市でも削減したため、経営が困難になっています。せめて市の削減分を戻して援助を行うことはできないのか。

**答** 市独自の補助金を戻す考えはない。個々の必要なサービスは、今までどおり受けることができます。

**問** 国民健康保険条例の改正により、旧4市村とも税額が値上げとなります。各地域ごとの18年度の1人当たりの

保険税についてお示しく下さい。

**答** 医療分の1人当たりの税額は、旧白河市8万3756円、旧表郷村5万8547円、旧大信村6万3471円、旧東村6万7649円となります。また、介護分の1人当たりの税額は、旧白河市2万4579円、旧表郷村1万3545円、旧大信村1万8071円、旧東村2万102円となります。

**合併すれば負担は低い方へという淡い期待が一部市民にあったわけですが、残念です。今後、平成23年までに同水準に統一するということは、特に旧村部にとっては、毎年、確実に値上げとなる、そう理解してよろしいですか。**

**答** そのとおりです。

**吾妻一郎**

**問** 公共施設のアスベスト除去工事において、市本庁舎の除去工事が実施できなかった理由は何か。また、実施時期はいつか。さらに、アスベスト飛散による健康被害などは無かったという認識なのかどうか。

**答** 国庫補助事業の決定を受けて対応するための遅れで、

平成18年度に実施します。健康被害の相談はありますが、1件については聞き取り調査を実施します。

**問** 施政方針で述べられている、認定農業者の支援や集落営農の推進だけで農業振興を図るのは極めて困難、さらに具体的な振興策を伺いたい。また、後継者不足は極めて深刻な状況、市としての具体的対策、対応を伺う。

**答** 様々な支援策を進めていきます。また、関係機関と協力しながら後継者育成に努めていきます。

**問** 特別職の区長の任期については2年のみ、報酬についてはさらなる引き下げを検討すべきと思うがどうか。

**答** 任期は1期2年、設置期間は平成22年3月31日まで。引き下げは5%とします。

**矢口 秀章**

**問** 道州制導入について、全国知事会で道州制導入の必要性を確認された報道があったが、市長の考えを伺います。

**答** 平成17年6月の全国市長会において、道州制導入の検討も必要との委員会の報告があったが、その後話し合い等

**戸倉 耕一**

**問** 合併記念日の制定について、平成17年11月7日、旧4市村による合併が実現しました。この日を、合併記念日と制定してはどうか。

**答** ご提案については、新市の一体感の醸成のため有意義であると思われま。つきま

しては、先進都市の事例等も参考に調査研究を考えております。

**問** 道の駅事業の詳細な構想について伺います。

**答** 南湖公園と道の駅を一体化させ、南湖全体の魅力と拠点性の向上を図るため、法規制も視野に入れ、施設の構成や運営等民間の意見等を参考に設置実現に向け調査研究を考えております。

**問** 矢吹西部土地改良区維持規程に基づき旧大信村は実施されましたが、新市においてどうか伺います。

**答** 旧大信村におきましては関係農家の償還金負担を考慮し、農業用施設災害復旧事業や沈砂池の土砂撤去等を実施してまいりました。新市におきましても、緊急性、重要性を勘案しながら、改良区と協議してまいりたいと考えております。

**石名国光**

**問** 国道289号の沿線住民から、渋滞の解消を求める声が多く、早期に4車線化すべき。また、連動信号機を増設し地域の声にこたえてほしい。

**答** 抜本的な対策として4車

線化が不可欠と認識している。294号交差点から県道坂本白河線交差点までの4車線化を、県に要望してまいります。

**問** 南部中通学路、南湖石阿弥陀線及び歩車道分離で予定されている2路線は、いつから着手するのか。

**答** 白坂十文字線は18年度に測量設計と新南部中から約400mを、南湖石阿弥陀線は18年度に測量設計を実施し19年度工事着手、皮籠3号線は、17年度から着手し19年度完了予定です。

**問** 森林整備事業市民懇談会の構成と役割、懇談会委員の意見等を取り入れられたい。

**答** 市民懇談会は親しまれる森とするため、野鳥の会・森の案内人・地元町内会から推薦された13人で組織、懇談会委員は、公園全体計画の検討、今年度事業として、懇談会答申に基づき森林公園全体計画を策定する予定です。

**山本忠男**

**問** 子育て支援で「白河・西郷広域シルバー人材センター」の活用と「ファミリーサポートセンター」の導入を提案する。

**答** シルバー人材センターは

現在「育児サービズ」を受託中、ファミリーサポートセンターは重要で取り組み努力を行い、導入により一層の子育て支援の充実を考えています。

**問** 自転車通行のマナーや交通違反と罰則等、事故防止のため市民への周知を提案する。

**答** 警察庁では自転車に関連する事故多発のため交通取締りを強化、当市では自転車の交通安全教室や広報紙を活用し周知します。小中学校では交通安全教室や警察署と連携、より具体的に指導しています。

**問** 地域団体商標制度の「地域ブランド」の登録について伺う。

**答** 本市の「白河ラーメン」や「白河そば」等商標登録を通じ地域の振興、活性化のため、制度の取組みを進めます。

**問** 「子ども110番の駅」や、コンビニの「セルフティーステーション」との協力について伺う。

**答** 新白河駅や白河駅と協議を行い、さらにコンビニとも連携し、協力を図ってまいります。

**大花務**

**問** 複合文化施設建設事業

**答** プロポーザル方式により、図書館本体の基本設計のほか、市民ホールを含む市有地全体の土地利用に対する提案もあわせて考える。

**南湖公園の周辺整備**

**問** 白河市森林居住環境整備事業について

**答** 営生館市有地を、国庫補助事業により、5年間にわたる市民の森として施設の整備を図るものです。

**問** 市道南湖線通行規制社会実験について

**答** 今年度から策定に入ります南湖公園保存管理計画の見直しと整合を図りながら、検討してまいります。

**問** 南湖公園内の駐車場とトイレの整備について

**答** 南湖公園保存管理計画策定事業の中で検討します。

**問** 下水道の受益者負担金見直しについては、「南湖のように風致地区だけの規制で、減免規定を適用している自治体は県内でも例がありません。」との答弁で了解しました。

**深谷弘**

**問** 全国学力テストへの参加

**問** 文科省は、来年4月から

公立の小6・中3を対象に、全国学力テストの実施を決めました。愛知県犬山市では、「画一的な教育につながる」と、不参加を決めましたが、白河市としてはどのように対応するのですか。

**答** 全国学力テストの実施は、児童生徒の学力状況の把握、学習指導方法の改善など広い視点で教育指導の状況を捉える機会となるので、市内全小中学校で参加していきたいと考えております。

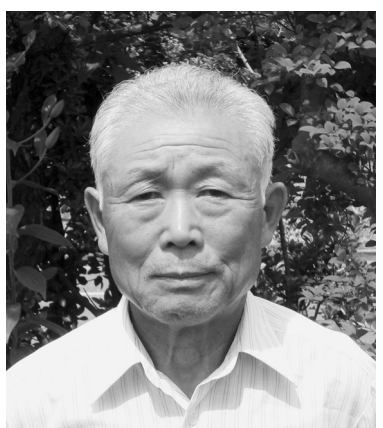
**問** 全国学力テストは、今から40年前、学校間の序列化や過度の競争を招き社会問題化する中で中止になりました。同じ過ちを繰り返すことにならないので参加すべきでないと考えますが、見解を求めます。

**答** 学習到達度を把握し、学習指導の改善・充実を図る。私どもの教育施策の成果と課題を明確にする。さらに、全国的学力レベルを把握し、地域の期待にこたえ、一定以上の教育水準を確保したい。こういう考え方から、実施することに決定しております。

**伊藤邦光**

**道路破損と凍上災害復旧事業**

**傍聴席からひとこと**



穂積 千束男

6月19日の一般質問の本会議を傍聴させていただきました。

議場に入り、前のひな壇には議長・局長・市長・各執行者が控え、議席には諸先生方が、新しい白河の大きな発展に向け重責と信頼、期待にこたえるべきその姿が強力に印象づけられました。

議員の質問が開始され、市長はじめ各担当の応答がなされましたが、質問者の全項目について市長が答弁されてなかったようです。身近な問題は議員も市民も関心があるので、直接市長の答弁を望みたい。

もう一つ、議長さんが質問者・答弁者に対し指名し、それに対し挙手をされ、返事をし初めて質問なり答弁を始めるようですが、傍聴席と議場の間があるので、返事の声が聞き取れないときもありましたが、神聖なる議場ですので、

礼儀正しく大きな力強い行動で頑張っていただければ、ますますの議会活動、市勢進展につながることに確信するものであります。議会だよりの充実と編集委員の皆様方のご活躍を願ひまして、私の取りとめのない感想の一端とさせていただきます。

質問項目について、質問者は答弁者を指名されているのですか。

私は、議会を傍聴するということは、とても大切なことと考えます。合併前も傍聴はしていましたが、今回特に合併後の傍聴は、4市村の議員の声を聞くことができ、とても視野は広がると感じました。

我々が支持し選んだ議員となつた方々の活躍などを、この目、耳で拝見・拝聴できるといふことは、傍聴以外にはないことだと推察いたしました。また、それぞれの地区内でのことなど、市全体がともよくわかると思います。私たち婦人も多くのことを知り、勉強し、見聞を広めていくことが、一番のことだと考えています。友達を誘い、多くの方々との議会傍聴を望むところです。

**6月定例会を傍聴された方は35人**

傍聴された方の中から、今回は表郷番沢の穂積千束男さん、東釜子の畠田アイ子さんに傍聴した感想などをお聞きしました。

**問** 田植え後、多くの傷んだ市道を測量していたので聞いたところ、今年の記録的な低温で道路が破損したところは、凍上災害復旧事業の該当になるので調査しているとのことでした。調査も完了したと思うが、要望箇所数と総延長、事業内容と実施見通しについて伺います。

**答** 凍上災害復旧事業が5月に決定し、白河市も該当になり、市内全域において調査を実施しているところです。しかしながら、被害の原因が凍上によるものに限定されるため、他の要因が重なること採択されないのが現状であり、現在、県の指導のもと、申請箇所の再選定を行っているところであり、申請箇所、延長については現段階では確定しておりません。今後、今月末に県内の被害報告がまとめられ、国への報告が予定されています。

その後、8月から9月にかけて災害査定が行われ、採択された工事は年度内に執行できると考えております。なお、補助率は3分の2です。

**大木信夫**

**問** 新都市計画マスター

**ランの取り組みについて**

**答** 総合計画などの策定状況を見ながら作業を進めたい。

**問** 新市における望ましい都市計画道路網の整備について

**答** 本市の都市計画道路は、全体で26路線あり、今後長期未着手都市計画道路の見直しも含め、都市計画道路の整備促進を図っていきます。

**地域の安全と環境対策**

**問** 立石地内の空きビル建物の危険箇所に対する市の対応は。

**答** 警察署にお願いしたところビル所有者に対し、管理の徹底と法に基づく立ち入りによる施錠をしたとの報告あり。

**問** 旧市内何カ所から側溝の悪臭苦情があり、以前のようにも水が流せないか。

**答** 水路に水が流れることは、防火用水の役割も担うことから、できる限り町中各地域に水が行き渡るよう努めます。

**問** 合併に伴う文化財の整備と観光ルートについて

**答** 感忠銘碑は貴重な文化遺産として保護・保存に研究を行ってまいりたい。観光ルートについては、情報を発信することで誘客につなげたい。

## 請願・陳情

- 白河市転坂地区の排水路その他対策について（採択）
  - 白河市南湖上流域の排水路改良対策について（採択）
  - 白河市転坂地区の道路整備対策について（採択）
  - 白河市下水道受益者負担金等の見直しに関する陳情（不採択）
  - 出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制に関する法律」の改正を求める意見書提出の請願（採択）
  - 障害者自立支援法の施行にともなう諸問題を解決するための意見書提出の請願（採択）
  - 県内郵便局における集配業務を廃止しないことを求める意見書提出の請願（採択）
  - 米国産等牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める意見書提出の陳情（採択）
  - WTO農業交渉に関する意見書提出の陳情（採択）
- ※採択した請願・陳情は、意見書案として提案されるものを除き、市長その他の関係機関に送付し、その処理の経過及び結果の報告を求めることにしました。

## 意見書

- 出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制に関する法律」の改正を求める意見書（可決）
  - 障害者自立支援法の施行にともなう諸問題について（可決）
  - 県内郵便局における集配業務を廃止しないことを求める意見書（可決）
  - 米国産等牛肉の輸入再再開の撤回を求める意見書（可決）
  - WTO農業交渉に関する意見書（可決）
  - 小規模作業所運営補助金引き下げの撤回を求める意見書（可決）
  - 道路財源の確保に関する意見書（可決）
- ※可決した意見書は、内閣総理大臣初め関係機関に提出しました。



**研修**

平成18年度福島県市議会議員研修会が7月20日会津若松市で開催されました。54名の議員が出席し、ジャーナリスト中村慶一郎氏の講演「これからどうなる！わが国の政局展望」について研修しました。

## 9月定例会日程のお知らせ（予定）

9月5日(火)	定例会開会	(午前10時開議)
9月11日(月)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
9月12日(火)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
9月13日(水)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
9月14日(木)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
9月15日(金)	決算議案の質疑 ・討論・表決	(午前10時開議)
9月19日(火)	議会運営委員会	
9月20日(水)	各常任委員会	
9月21日(木)	各常任委員会	
9月26日(火)	本会議・閉会	(午前10時開議)

※この日程は、6月30日の議会運営委員会で内定したものです。なお、正式には9月1日開催予定の議会運営委員会で決定します。傍聴する場合は、議会事務局にご確認ください。電話 22-1111/内線 2411・2412

## おもてごう保育園を訪ねて



元気いっぱいの子供たち、その元気に区別なく向き合う優しい先生、七夕飾りのトーマス君、異国風な建物、環境教育の一助かなと感動しました。

おもてごう保育園の皆様、写真撮影のご協力ありがとうございました。

松並 早津栄一

## 編集後記

6月定例会は、新しい「白河市」が誕生して2回目の定例会であり、各議員が厳粛の中で、市政に対する活発な意見・議論・討論などが行われました。

今回は議会報編集に当たり、特に、国民健康保険を特集として、市民の皆さんがわかりやすい紙面づくりをしました。また、表紙には次世代を担う子供たちの元気な笑顔を紹介することができました。引き続き議会だよりが市民にとって親しみやすい議会報となるように努力します。



**編集委員長**  
深谷幸次郎

**副委員長**  
藤澤正典

**編集委員**  
穂積栄治 飯村 守  
我妻茂昭 須藤博之  
鈴木博之 藤田久男  
真船俊雄 渡部半一